

サプライヤの請求書ステータスポータル統合 SBNI-1633

一般提供予定：2025 年 5 月

機能概要

導入: サプライヤ向け請求書状況ポータル統合

機能の説明

この機能により、バイヤーは請求書ライフサイクル中にサプライヤを請求書状況ポータル (ISP) にシームレスにオンボーディングすることができます。ISP にまだ登録されていないサプライヤに ERPCC 請求書をバイヤーが送信すると、登録依頼が自動的にトリガされます。これにより、サプライヤは ISP アカウントをすばやく作成し、請求書および支払ステータス情報にアクセスすることができます。

主な利点

サプライヤーは、請求書ステータスポータル (ISP) を介して請求書および支払ステータスに直接アクセスできるため、マニュアル照会が削減されます。

発注者は、請求書送信プロセス中に、ポータルにまだ登録されていないサプライヤへの ISP 登録依頼を自動的にトリガすることができます。

サプライヤは、登録後に請求書の進行状況と状況の更新をリアルタイムで追跡できるため、透明性とコミュニケーションが改善されます。

オーディエンス:

バイヤーおよびサプライヤ

イネーブルメントモデル:

顧客による設定

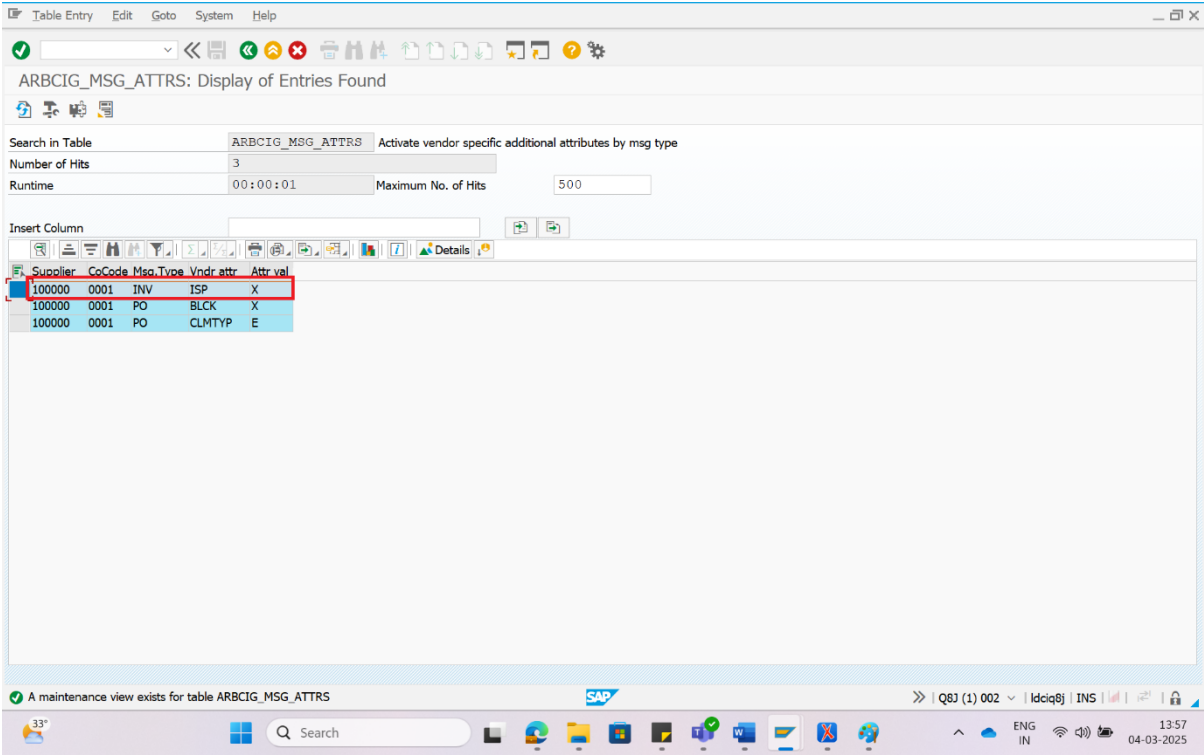
対象ソリューション:

SAP ERP
SAP Business Network

イネーブルメントの手順および注記

- ERPCC 請求書で ISP フラグをサプライヤに送信するには、バイヤーは SM30 を使用してテーブル ARBCIG_MSG_ATTRS で属性を更新する必要があります。

フィールド	金額
サプライヤ	サプライヤを選択する
会社コード	会社コードを選択します。
Msg.タイプ	請求書
仕入先属性	ISP
仕入先固有属性値	以下の値のいずれかを更新します。 X: この機能を有効化します。 ' ': 機能を無効化するための空白値。



ユーザーストーリー

SAP Business Network と統合された SAP ERP を使用しているバイヤーである

ERPCC 請求書を送信する際に、請求書状況ポータルにまだ登録されていないサプライヤに
ISP 登録依頼を自動的に送信します。

これにより、サプライヤは、サポートチームに連絡しなくても、ポータルに簡単にオンボーディングし、請求書および支払状況情報を表示できるようになります。

機能の詳細

この機能により、バイヤーは ERPCC 請求書の送信時に、請求書ステータスポータル (ISP) にまだ登録されていないサプライヤに自動登録依頼を送信することができます。登録すると、サプライヤは ISP を介して請求書および支払状況に関するリアルタイム情報にアクセスできるようになり、可視性とコミュニケーションが改善されます。

範囲:

- SAP Business Network と統合された SAP ERP を使用しているバイヤーに適用されます。
- リリース 2505 (2025 年第 2 四半期、SP 23) 以降で提供されています。
- 他の SAP コンポーネントとの統合 -> バイヤー向け支出および Network 向け管理ゲートウェイ -> SAP Business Network Integration -> 一般設定 -> 有効化: ベンダ別の送信プロセスタイプ属性を使用して、サプライヤごとに設定することができます。

仕組み:

- バイヤーが ERPCC 請求書をサプライヤに送信します。
- サプライヤが ISP にまだ登録されていない場合は、ISP 登録依頼が送信されます。
- サプライヤは、招待を使用して ISP で新しいアカウントを作成し、請求書と支払詳細を表示する

The screenshot displays the IDoc Display application interface. The top bar shows the IDoc ID: 0000000001676399. The main window is divided into three panes:

- Left Pane (IDoc display):** A tree view showing the structure of the invoice, including segments like E1EDK01, E1EDK01 AG, E1EDK01 LF, E1EDK01 WE, E1EDK04 V0, E1EDK03 015, E1EDK03 016, E1EDK03 025, E1EDK03 044, E1EDK18 001, E1EDK18 002, E1EDK18 003, E1EDKT1 001, E1EDP01, E1EDP01, E1EDP01, E1EDS01 001, E1EDS01 002, E1EDS01 003, E1EDS01 005, and Status records.
- Middle Pane (Additional information):** A table listing segments and their details. The first column is 'Segment' and the second is 'Additional information'. The segments listed are: Segment 000001, Segment 000002, Segment 000003, Segment 000004, Segment 000006, Segment 000008, Segment 000010, Segment 000011, Segment 000012, Segment 000013, Segment 000014, Segment 000015, Segment 000016, Segment 000017, Segment 000018, Segment 000020, Segment 000031, Segment 000042, Segment 000053, Segment 000054, Segment 000055, and Segment 000056.
- Right Pane (Short Technical Information):** A table showing technical details for the selected segment. The first column is 'Field Name' and the second is 'Field Content'. The fields listed are: Direction (1), Outbox, Current Status (03), Basic type (ARBCIG_GSVERF), Extension, Message Type (GSVERF), Partner No. (ARIBA), Partn.Type (LS), Port (CIGPORT), Content of Selected Segment, Fld Name (XBLNR, BEZNR, BUYERINVOICEID, PAYMENT_DUE_DA..., KUNDEUINR, ISP_CODE), and Fld Cont. (5500058322, 0.0000, 5500058322, 20250403, DE456789012, ISP).

The bottom pane shows the XML editor with the XML code for the invoice. The code is an XML document with a root element of <?xml version="1.0" encoding="utf-8"?><!DOCTYPE CXML SYSTEM "http://xml.cxml.org/schemas/cXML/1.2.064/InvoiceDetail.dtd"><cxml payloadID="Fe41cc">. The XML code includes various elements like <Header>, <From>, <Credential domain="VendorID">, <Identity>, <Credential domain="EndPointID">, <Contact role="correspondent">, <Extrinsic name="collaborationType">, <Credential domain="SystemID">, <Credential domain="NetworkID">, and <Sender>.

ありがとうございました。

フォローをお願いします。



www.sap.com/contactsap

© 2024 SAP SE or an SAP affiliate company. All rights reserved.

本書のいかなる部分も SAP SE または SAP 関連会社の明示的許可なしに、いかなる形式、目的を問わず、複写、または送信することを禁じます。本書に記載された情報は、予告なしに変更されることがあります。SAP SE およびその頒布業者が販売するソフトウェア製品には、他のソフトウェア会社が所有権を有するソフトウェアコンポーネントが含まれています。製品仕様は、国ごとに変わる場合があります。これらの文書は SAP SE または SAP 関連会社が情報提供のためにのみ提供するもので、いかなる種類の表明および保証を伴うものではなく、SAP またはその関連会社は文書に関する誤記・脱落等の過失に対する責任を負うものではありません。SAP または SAP 関連会社の製品およびサービスに対する唯一の保証は、当該製品およびサービスに伴う明示的保証がある場合に、これに規定されたものに限られます。本書のいかなる記述も、追加の保証となるものではありません。特に、SAP SE またはその関連会社は、本書または関連文書に概説された事業の実現、またはそこに記載されたいかなる機能の開発またはリリースに対する義務も負いません。本書、若しくは関連の提示物、及び SAP SE 若しくはその関連会社の戦略並びに将来の開発物、製品、及び/又はプラットフォームの方向性並びに機能はすべて、変更となる可能性があり、SAP SE 若しくはその関連会社により随時、予告なしで変更される場合があります。本書に記載する情報は、何らかの具体物、コード、若しくは機能を提供するという確約、約束、又は法的義務には当たりません。将来の見通しに関する記述はすべて、さまざまなリスクや不確定要素を伴うものであり、実際の結果は、予測とは大きく異なるものとなる可能性があります。読者は、これらの将来の見通しに関する記述に過剰に依存しないよう注意が求められ、購入の決定を行う際にはこれらに依拠するべきではありません。本書に記載される SAP 及びその他の SAP の製品やサービス、並びにそれらの個々のロゴは、ドイツ及びその他の国における SAP SE（又は SAP の関連会社）の商標若しくは登録商標です。本書に記載されたその他すべての製品およびサービス名は、それぞれの企業の商標です。商標に関する詳細の情報や通知に関しては、www.sap.com/trademark をご覧ください。